

昭和十六年年報

國立癩療養所 多磨全生園

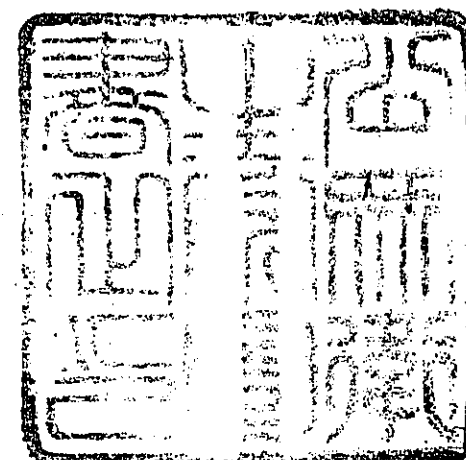
国立保健医療科学院蔵書



10012191

FI
16

FI
BZ/16
4



園歌



一、あしたに仰ぐ不二の山

ゆふべに映ゆる秩父の嶺

空より廣き武蔵野の

中に我等のすまゐあり

二、恵も深き聖代に

もとゐをおきて幾星霜

歴史を語る松風に

ふくいん高くつとふらん

三、その名を聞けや全生の

住ふ村人とこしへに

こゝろの望抱きつゝ

共にたのしく集ひなん

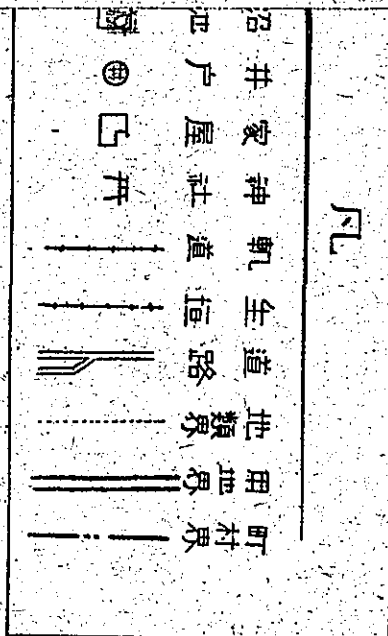
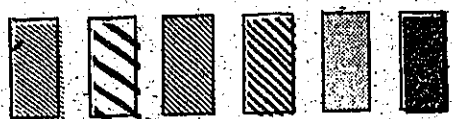
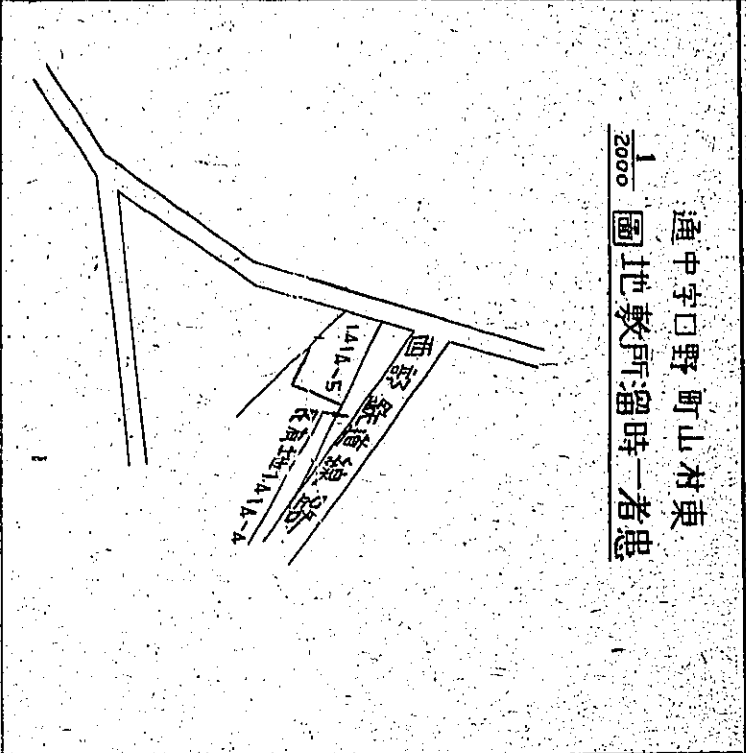
療養生活五訓

- 一、吾等ハ大御心ヲ奉體シ一意専心療養ニ勵ムベシ
- 一、吾等ハ皇軍將士ノ心ヲ心トシ困苦ヲ克服シ必勝ノ信念ヲ固ムベシ
- 一、吾等ハ相愛共助ノ精神ニ則リ人格ヲ鍊磨シ相互ノ幸福安寧ヲ圖ルベシ
- 一、吾等ハ公益優先ヲ信條トシ各々其ノ分ヲ盡シ銃後奉公ノ誠ヲ捧グベシ
- 一、吾等ハ感謝報恩ノ念ニ燃エ大政ニ協翼シ明朗健全ナル樂土ヲ建設スベシ

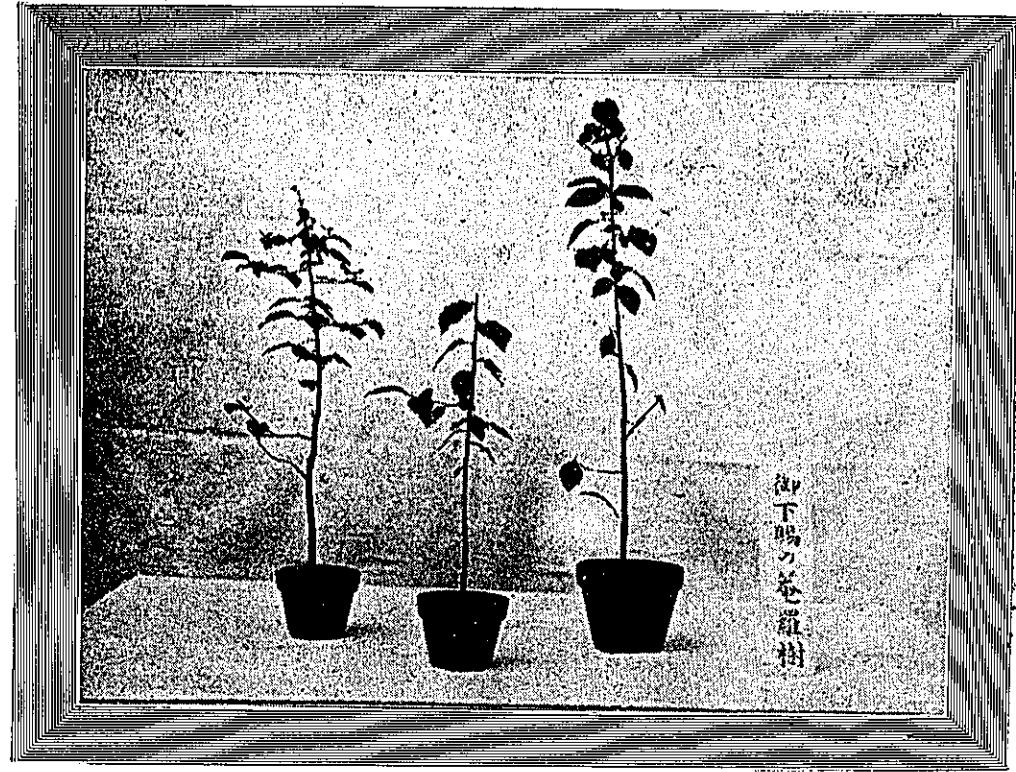
註 右五訓ヲ入閣患者ノ教化指標トシ集會等ノ場合ニ於テ唱和セシメ現下ノ時局ニ對スル覺悟及剛健ナル精神ノ昂揚ヲ圖ル

昭和拾七年七月調製

55x43



昭和十六年七月十六日・畏クモ 皇太后陛下
ヨリ菴羅樹御下賜アラセラル



皇太后陛下御歌

つれづれの

友となりても

慰めよ

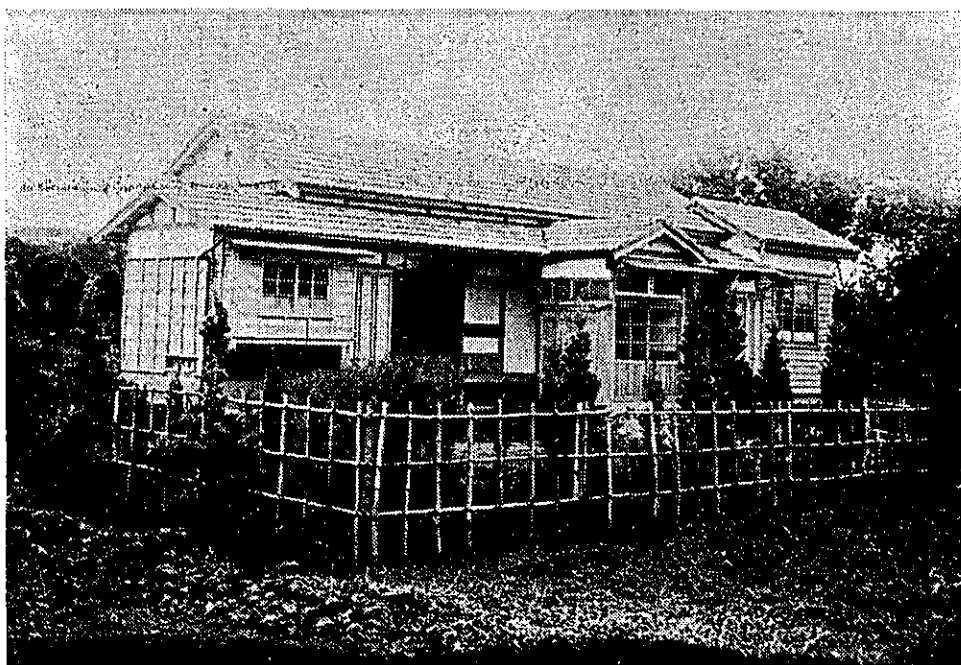
行くことかたき

われにかはりて

療養生活五訓



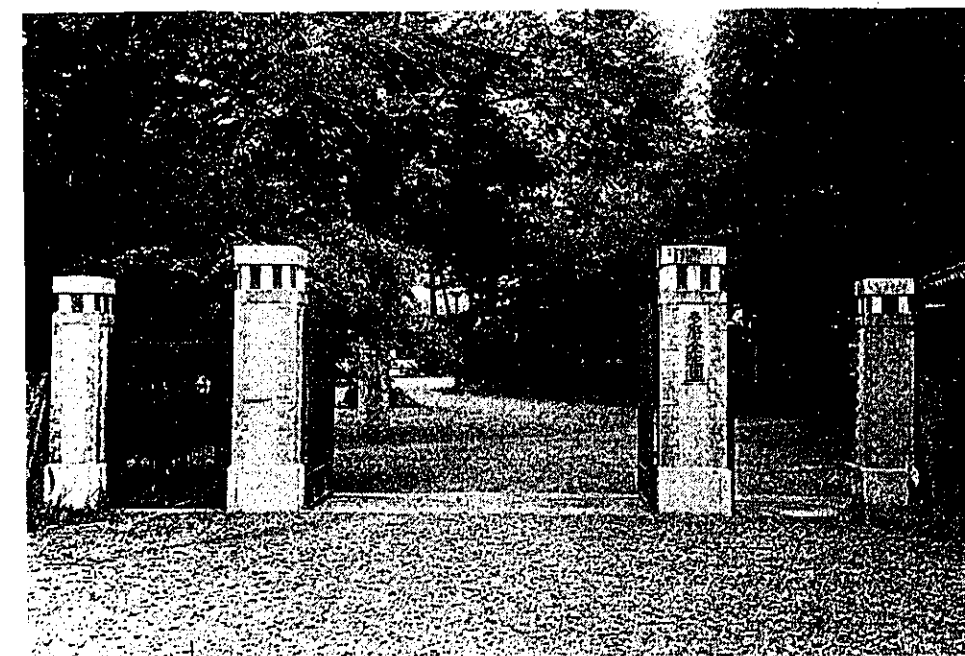
朝香宮鳩彦王殿下御來園記念



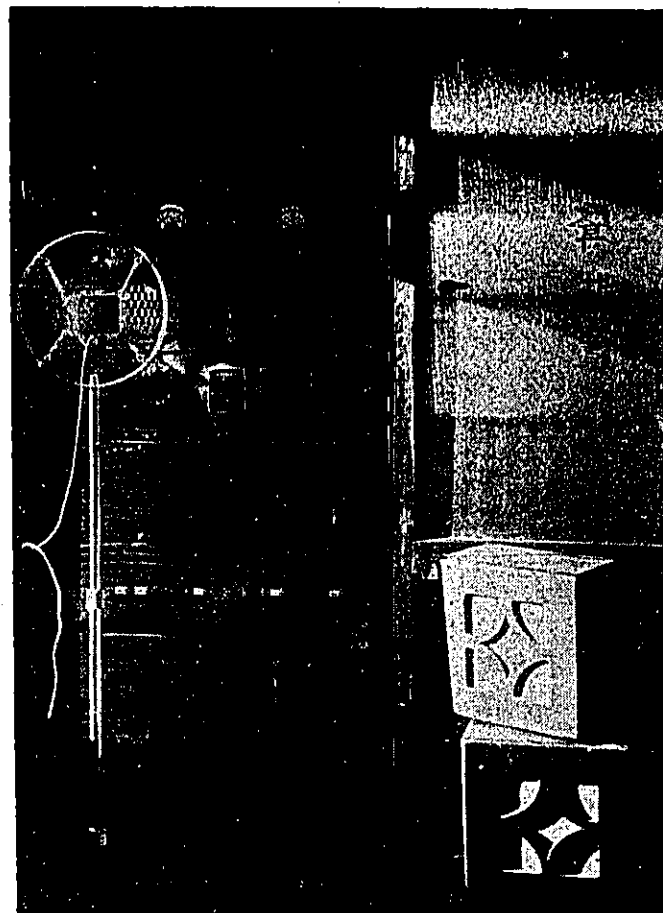
日本赤十字社寄附ノ日赤寮



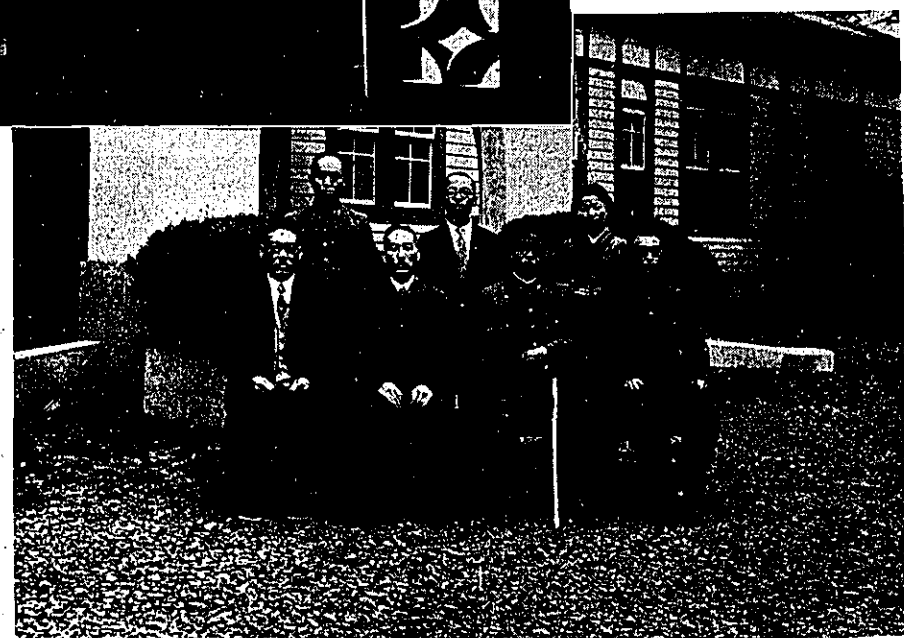
全 景



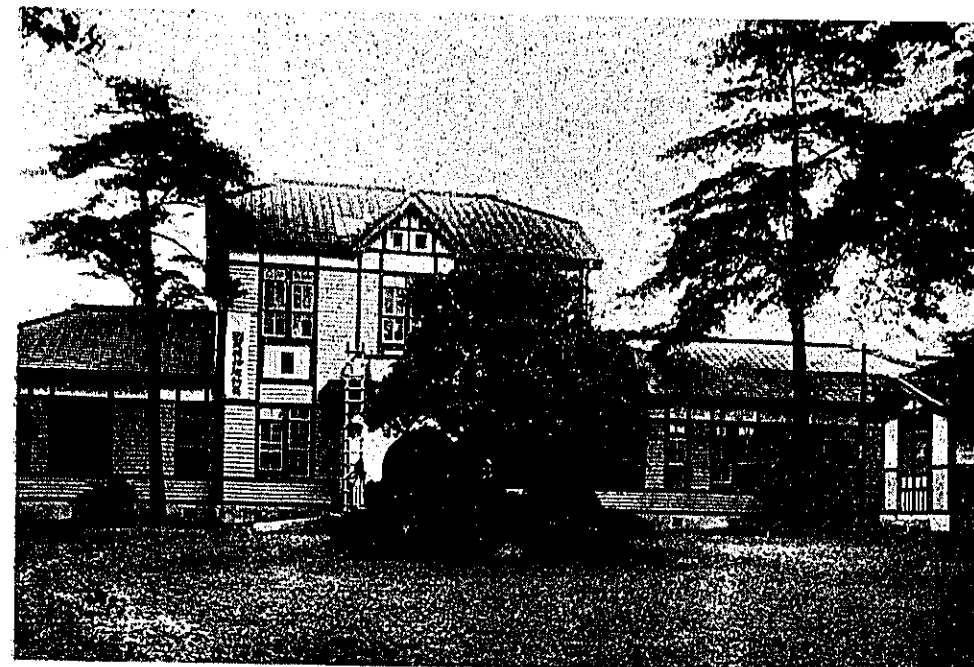
正 門



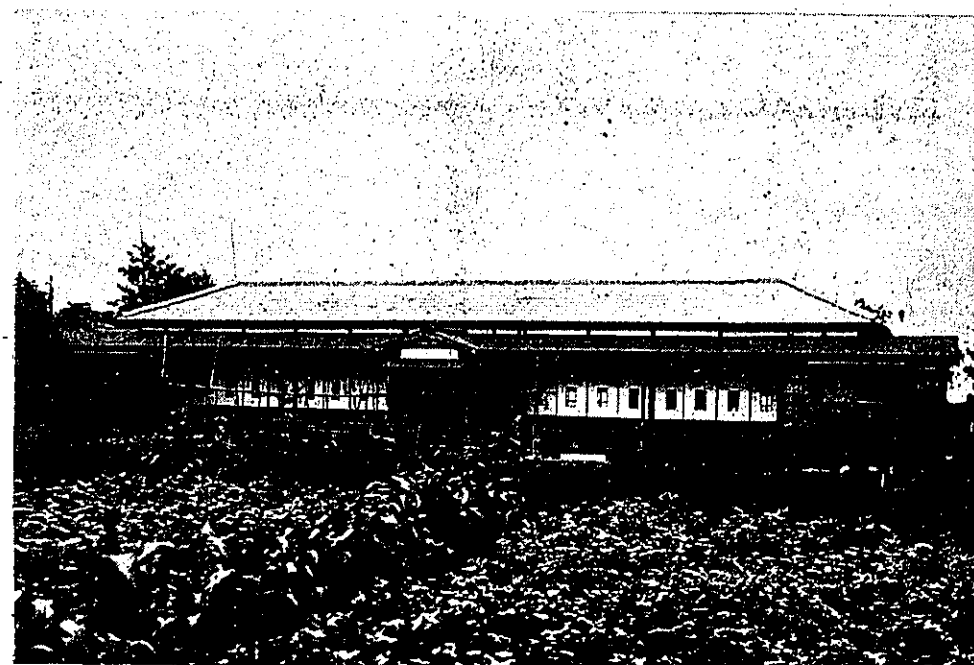
放聲裝置
(之ニ依リテ各病棟其他
園内全般ニ放送サル)



櫻井忠溫少將來園記念

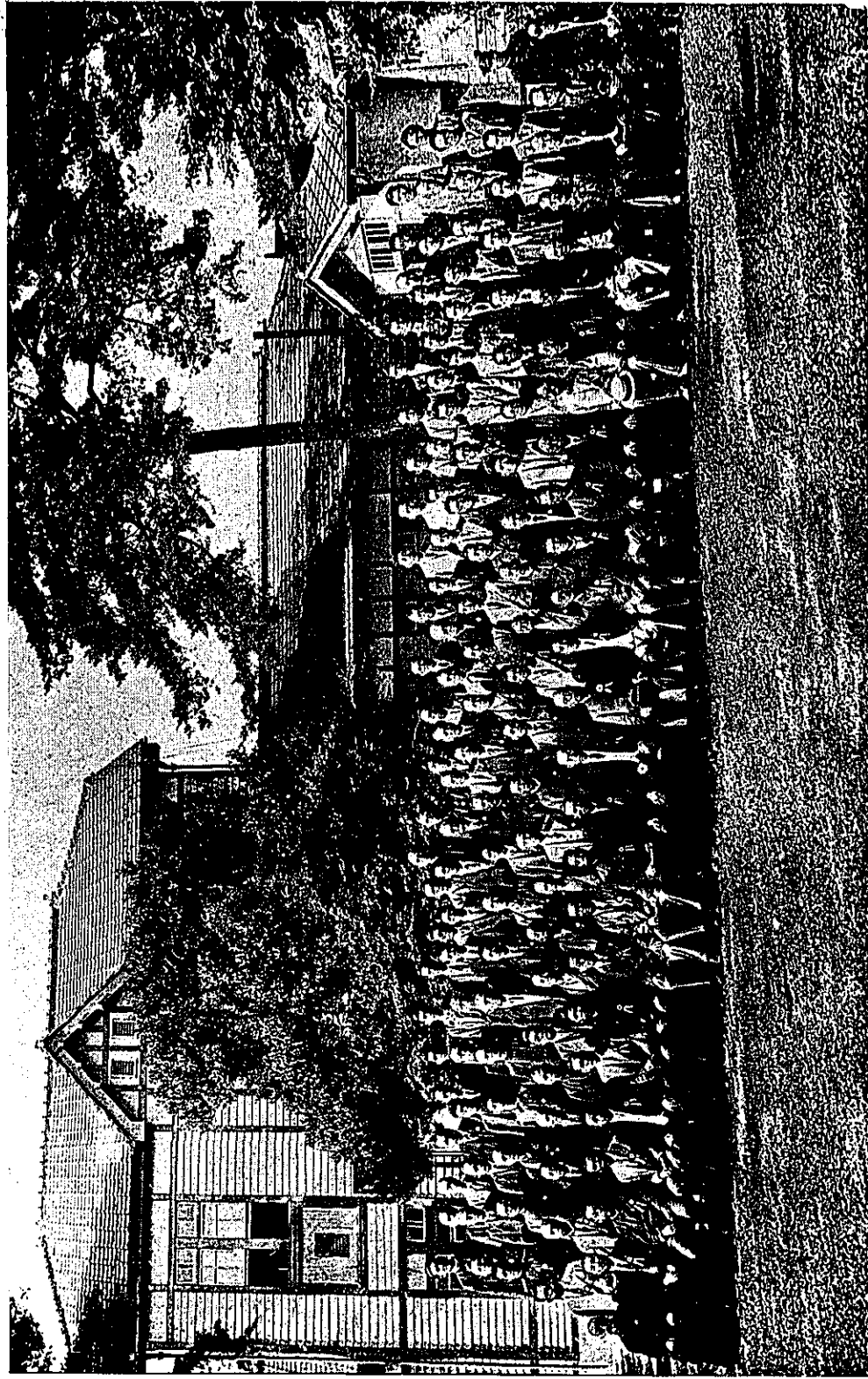


事務本館



患者病棟

國立移管記念



治療室ノ一部



入院患者治療經過



多磨全生園概況

患者野球優勝旗授與



患者栽培ノ西瓜



温室ノ一部



目次

第一	沿革	一
	收容定員増員狀況	一
	職員異動表	一
第二	概況	一
	一 敷地	一
	二 建物坪數	一
	三 職員	一
	四 收容患者定員及現在數	一
	五 本年中ニ於ケル重要事項	一
第三	總經費	一
	一 豫算	一
	二 決算	一
	三 患者一人當經費	一
第四	治療	一
第五	患者ノ生活狀態	一

一	衣	食	二
二	慰安及娛樂	六	六
三	風	紀	六
四	教	育	六
五	作	業	七
六	常	會	七
第六	統計	七	七
一	收容患者異動表	三	三
二	現在患者本籍地別表	三	三
三	現在患者發病年齡別表	三	三
四	患者發病ノ時ヨリ療養所入所迄ニ至ル經過年數別表	六	六
五	現在患者病型年齡別表	六	六
六	死亡患者病型年齡別表	六	六
七	死亡患者病名年齡別表	七	七
八	發病以來死亡迄ノ經過年數別表	九	九
九	現在患者發病當時ノ職業別表	九	九
一〇	現在患者前科者調表	九	九
附	一 國內社會事業團體	一	一

第一沿革

開院當初

一、本院ハ明治四十年法律第十一號ニ基キ同年內務省令第二十號ヲ以テ東京、神奈川、新潟、埼玉、群馬、千葉、茨城、栃木、愛知、靜岡、山梨、長野ノ一府十一縣ヲ聯合區域ト定メ創設シタルモノニシテ時ノ東京府知事阿部浩ハ療養所所在地ノ故ヲ以テ本院管理知事トシテ明治四十年十月創設費豫算ヲ編成シ聯合府縣ノ各代表者ト會合シテ費用ノ支出分擔方法ヲ議定シタルモ豫防法實施期日改正ノ結果遂ニ實行ヲ見ル能ハサリシヲ以テ明治四十一年三月更ニ之ヲ議定スルニ至レリ

明治四十二年

一、越エテ明治四十二年二月ニ至リ東京市ヲ距ル西方八里十五町所澤ヲ離ル、東南方約一里田無街道ニ沿ヘル東京府北多摩郡東村山村大字南秋津字開發地内ナル林野三萬七百八坪ヲ敷地ニ選定シ同年四月エラ起シ建築ニ著手セリ同月東京府廳大野德太郎ハ本院長事務取扱ヲ命セラレ次テ各醫員、調劑員、書記等ノ任命アリ同年九月光田健輔ハ本院醫長ヲ命セラレタリ

- 一、同年九月設備セシ建物左ノ如シ
- 一號 館(事務所) 一棟 六八坪五
- 二號 館(治療所) 一棟 三〇坪

二

三號館(治療所)	一棟 五四坪	試驗室	一棟 一八坪
輕症舍	一棟 四八六坪七五	重症舍	一棟 五〇坪五
隔離病舍	一棟 二七坪五	屍室(解剖室)	一棟 八坪
禮拜堂	一棟 七二坪	浴場(綿帶交換)	一棟 二五坪
蒸汽機關室(附洗濯場)	一棟 三〇坪	炊事場	一棟 四二坪
職員舍宅	五棟 二四四坪七五	物置	二棟 一五坪
門衛所	一棟 一三坪七五	職員浴室	一棟 五坪
汚物焼却場	一棟 三坪		

一、明治四十二年九月二十八日諸般ノ準備略ホ整理ヲ告ケタルヲ以テ開院式ヲ舉行セリ然レトモ其ノ設備未タ全タカラサルヲ以テ一時東京府荏原郡目黒村私立慰養園ノ一部ヲ借りテ假收容所ニ充テ其ノ間ノ事務ハ東京府廳内ニ於テ處辨セラレタリ越エテ十月十八日ニ至リ始メテ本院内ニ於テ事務ヲ開始シ收容患者ヲ移スト同時ニ聯合府縣ノ送致ニ係ル患者ヲ順次收容スルニ至レリ

明治四十三年

一、三月大野東京府屬ハ院長事務取扱ヲ解カル、ト同時ニ休職千葉縣市原郡長池内才次郎本院長ヲ命セラレ同年六月院長事務トナレリ

一、明治四十三年勅令第三百四十六號癩癪養所職員制發布ニ依リ同年十月池内才次郎ハ癩癪養所長ニ任セラル、ト同時ニ本院

院長ニ光田健輔ハ癩癪養所醫長ニ任セラル、ト同時ニ本院醫長ヲ命セラレ其ノ他醫員、調劑員、書記何レモ任命セラレタリ

一、同年度中ニ於ケル補充設備ノ箇所左ノ如シ

患者作業場兼娛樂所	一棟 八〇坪	特別室	一棟 一六坪二五
裁縫所兼物品藏置所	一棟 二五坪	通用門駐在所	一棟 一坪七五
看護人寄宿所	二棟 三一坪	浴場ノ増築	二箇所 一〇坪
機關手及雇員住宅	一棟 六〇坪	隔離病舍看護人控所及浴場	二棟 七坪
藥庫及器具消毒室	一棟 二〇坪	患者共同便所	一棟 一坪
手術室	一棟 九坪	看護人駐在所	一棟 七坪七五

明治四十四年

一、本年中ニ於テ補充セシ建物ハ

火葬場	一箇所
此ノ敷地一五〇坪	建坪一二坪ナリ

一、明治四十五年ヨリ患者百五十人増員ノ計畫ヲ立テ増員ニ對スル建築費及救護ニ要スル一切ノ經費豫算ヲ計上シ聯合府縣協議會ニ提出シタル結果差當リ現在ノ建物ヲ以テ五十人ヲ増員シ明治四十五年四月ヨリ之ヲ實行スルコト、ナレリ

大正二年

一、本年ニ於テ補充設備セシ建造物ハ左ノ如シ
重症舎 一棟 四〇坪
物品交附所兼物品藏置所 一棟 一〇坪

洗濯仕上ケ所兼乾燥室 一棟 一〇坪

大正三年

一、二月十九日院長池内才次郎ハ願ニ依リ本職ヲ免セラレ同日醫長光田健輔ハ療養所長ニ補セラレ同時ニ本院長ヲ命セラレタリ

大正四年

一、本年度ニ於テハ從來ノ建物ヲ以テ五十人ヲ増員シテ四百人トナスコト、ナリタリ然ルニ大正四年八月ノ豫算協議會ニ於テ聯合府縣當事者ハ御即位ノ大典ニ際シ尙ホ市内各所ニ癩患者ノ浮浪スル者アラムコトヲ慮リ遺憾ナク收容スヘキ決議ヲナシタリ然レトモ如何セン本年度増員ノ爲メ已ニ病舎ノ狹隘ヲ告ケ居ル際ナルヲ以テ十月中ニ四十二坪五合ノ一棟ヲ増設スルノ已ムナキニ至リタルヲ以テ急キ工事ニ著手シ十月末ニ落成セリ依ツテ十一月ノ御大典ノ際ニハ四百二十餘人ヲ收容シ得ルコト、ナリ同年十二月一日ニハ其ノ收容數實ニ四百二十四人ヲ算セリ
同年度設備セシ建築物寢具被服日用器具ノ他ニ炊事場ノ改善ヲ施シ從來ノ薪炭ヲ廢シ鈴木式蒸汽炊事竈六箇ヲ裝置シ床面ノ「コンクリート」ヲ撤シテ花崗石トナシ尙一坪五合ノ増築ヲナシタルニ清潔ニシテ且ツ經濟的ナルノミナラス尙將來ニ向ツテ多少ノ餘裕ヲ存スルヲ得タリ
其ノ他豚小屋五坪ノ増設、生垣二百間ノ新設ヲナセリ

一、本院ニ於テハ從來職員退職給與金支給ノ規定ナカリシヲ以テ聯合府縣ノ協議ヲ經テ大正四年度ヨリ施行スルコト、ナレリ

一、本院患者墓地ニハ是迄墓石ノ設ケナカリシカ大正五年東京市淺草東本願寺ヨリ墓碑一基ヲ寄附セラレタルヲ以テ七月之レカ建設ニ著手シ九月ニ至リ其ノ落成ヲ告ケタルニヨリ同月二十二日秋季慰靈祭ヲ兼ネ除幕式ヲ舉行セリ

大正六年

一、本年度ニ於テ從來收容定員四百人ノ外更ニ患者百人増員ノ豫算可決セルヲ以テ増員ニ必要ナル諸建物ノ建築ニ著手シ同年十二月迄ニ左記建物ノ落成ヲ見タリ

輕症舎

三棟 一三二坪

重症舎

一棟 四〇坪

寢具被服物置

一棟 一〇坪

更ニ引續キ

醫員調劑員舎宅

一棟 三三坪

看護人舎宅

一棟 二九坪五

看護人寄宿所増築(在來ノ建物ニ建テ續キ)

六坪

ノ諸建物落成ヲ見タリ

尙此外汽罐室ヲ増築シ蒸汽機關一臺ヲ据付クヘキ豫定ノ處物價騰貴ニ伴ヒ既定豫算ニテハ建築及汽罐ヲ購入スルコト能ハサルニ依リ止ムナク汽罐室増築ハ大正七年度ニ延期シ機關一臺ノミヲ購入シタリ

大正七年

一、本年度ニ於テ落成シタル建物左ノ如シ

汽 罐 室

一棟 一二坪

消毒用機關室増築(在來ノ建物ニ建テ繼キ) 九坪

豚 小 屋

一棟 五坪五五

炊事場物置 一棟 一〇坪

醫 務 室

一棟 二二坪

醫務室附屬渡廊下 五坪

一、大正八年度ニ於テハ三號館(治療室)ノ模様替ヲ爲シタル外特記スヘキ事項ナシ

大 正 十 年

一、本年度ニ落成シタル建物左ノ如シ

製藥消毒兼試驗室

一棟 一六坪

物品交附所 一棟 三坪七五

脱 衣 所

一棟 五坪

大 正 十 一 年

一、本年度ヨリ患者百人増員ニ伴フ諸設備ヲ實施センカ爲メ大正十年九月上旬聯合府縣當事者ハ東京府廳ニ會合シ十年度追加豫算建築費拾八萬千四百四圓、初度調辦費金壹萬貳千貳百五拾貳圓九拾五錢ヲ可決セリ依テ先ツ以テ敷地ヲ擴張セシカ爲メ現在敷地ニ接續セル東南方山林及畑地二萬三百五十三坪ヲ同年十二月買收セリ然レトモ建築工事ハ時日僅少ナリシカ爲メニ同年度内ニ著手スルノ運ヒニ至ラザリキ

大 正 十 二 年

一、院長光田健輔ハ內務省ヨリ臨時衛生局事務ヲ囑託セラレ大正十二年七月佛國ニ於テ開催ノ萬國癩會議ニ本邦代表者トシテ出席ヲ命セラレ且東京府ヨリハ佛國へ出張ノ序テヲ以テ歐米各國ニ於ケル癩豫防事務視察ヲ命セラレ同年六月六日渡歐ニ付同月四日院長不在中東京府庶務課長理事官土岐銀次郎ハ院長事務取扱ヲ命セラレタリ

一、大正十三年ヨリ患者百五十人増員ニ伴フ諸設備ヲ實施センカ爲メ大正十一年九月聯合府縣當事者東京府廳ニ會合シ十一年度追加豫算建築費八萬參千五百六拾貳圓五拾錢初度調辦費貳萬貳千圓ヲ可決セリ然レトモ建築工事ハ前年度ヨリ繰越工事多ク且時日僅少ナリシヲ以テ同年度内著手ノ運ヒニ至ラスシテ大部分十二年度ニ繰延タリ尙患者百五十人増員ニ伴ヒ敷地ノ狹隘ヲ感セルヲ以テ十二年三月現在敷地ニ接續セル東方山林四千六百六十四坪ヲ買收セリ

一、大正十二年九月一日午前十一時五十八分關東地方ニ起リタル大震災ノ爲メニ本院ノ蒙リタル被害左ノ如シ

一號館(事務所) 二、三號館(治療所) ハ屋根ノ破損及壁ノ墜落甚タシ

藥劑庫及器具消毒室(藥室) ヨリ發火シタルモ直ニ消シ止メタリ原因ハ貯藏藥品ノ顛覆破壊シタルニ由ル

收容患者ハ直ニ院内及庭園中央ニ避難セシメ幸ニ壹名ノ死傷者モナシ

輕症舍禮拜堂並ニ重症舍及新病舍診察室(十二年新築) ハ屋根ノ破損及壁ノ墜落箇所甚タ多シ

患者作業所兼娛樂所壹棟(八拾坪) ハ倒潰シ折柄該室内ニ於テ作業中ノ患者六名壓セラレタルモ直ニ匍ヒ出テ事ナキヲ得タリ

井戸水ハ一時白色ニ混濁シタルモ飲料ニ支障ヲ生セス

舊蒸汽機關ハ煉瓦崩壞ノ爲メ使用シ得サルモ他ノ汽罐(大正八年建設ノモノ)ニ故障ナカリシヲ以テ辛ウシテ食料品支給並ニ消毒用ニ使用差支ナキヲ得タリ

建設中ノ汽罐ハ周圍ノ煉瓦ニ龜裂ヲ生シ前方へ突出シ大煙突モ亦中央部ニ龜裂ヲ生シタル箇所アリ

職員舎宅ハ瓦ノ破損壁ノ墜落箇所甚タ多シ
火葬場ハ煉瓦崩壊シ全ク使用ニ堪ヘス

大正十一年及十二年中落成シタル建物左ノ如シ

(十二年中)

醫務室附屬便所

一棟 一坪

同上廊下

一棟 一二坪

輕症舎

三棟 一三二坪

(十二年中)

一時收容病室及重病室

一棟 九四坪五

炊事場物置

一棟 一〇坪

同 附屬便所

一廉 一四坪

動物小舎標本置場

一棟 一二坪

同 附屬洗面所

一廉 二坪

火夫宿直室

一棟(三戸) 三〇坪

同 附屬臺所

一廉 三坪

火夫宿直室

一棟 六坪

同 附屬廊下

一廉 九坪五

患者共同便所

二棟 三坪

診察室

一棟 一三坪

看護婦寄宿所増築

一棟 一〇坪

患者面會所

一棟 六坪

大正十三年

本年中落成シタル建物左ノ如シ

輕症舎

五棟 二二〇坪

醫務室附屬渡廊下

一棟 六坪

汽罐室

一棟 二四坪

洗濯所

一棟 一〇坪

水槽

一基

寢具被服物置

一廉 二坪

監視所

一棟 二坪

患者作業所

一廉 三坪

女患者浴場及綑帶交換所

一棟 三五坪

看護人駐在所増築

一廉 九坪五

醫務室増築

一棟 二六坪五

醫員舎宅

一棟 一三坪

隔離病舎

一棟 六〇坪

消毒用機關室増築

各一ヶ所 四坪五

炊夫宿直室

一棟 六坪二五

患者食品配給所

一棟 一二坪

渡廊下(普通病室ト收容病室トノ間)

一ヶ所 五坪五

火葬場

一棟 一二坪

大正十四年

一、十月東京ニ於テ開催セラレタル極東熱帯醫學會及國際聯盟各國衛生技術官交換會議ニ列席ノ各會議員來院親シク視察
ヲ了セラル

一、本年中落成シタル建物ハ左ノ如シ

表 門 鐵筋混凝土造(鐵扉付)

一基

禮拜堂

一棟 二二八坪

職員浴場(増築)

五坪

大正十五年

一、六月八日書記横田久ハ癩療養所主事奏任待遇ニ補セラレ同日全生病院主事ヲ命セラル

一、二月九日新禮拜堂ノ開堂式ヲ舉行シ舊禮拜堂ニ安置セル御神體ヲ奉遷シ次テ三月五日ニ眞宗五月二十日ニ日蓮宗六月四日ニ眞言宗ト順次各本尊ヲ新禮拜堂ニ遷シ各本山並ニ宗務院ヨリ高僧ヲ派遣セラレ莊嚴ナル遷佛式ヲ行ヘリ

一、十一月十一日午前一時頃輕症舎松舎一號室ノ押入附近ヨリ發火シ同舎一棟(四十三坪五合)ヲ燒失セルモ患者中一名モ負傷者ヲ出サ、リシハ不幸中ノ幸ナリキ

一、本年中新築セル建物

應接所兼參觀人控所 一棟 一二坪 應接附屬便所並ニ渡廊下 六坪

昭和二年

一、患者收容數年々増加スルニ件ヒ敷地擴張ノ必要ヲ生シ三月中地主ト協議ノ上隣接民有地貳萬五千六百拾參坪ヲ買收セリ

一、同年中落成ノ建物ハ左ノ通り

看護長舎宅	一棟 一六坪五	職員浴場増築	二坪五
雇員及調劑助手舎宅	一棟 三〇坪	重症室改築	四〇坪
輕症舎(盲人舎)	一棟 六一坪一六六	同 廊下	一三坪

重症舎ハ開院當時ノ建築ニカ、リ腐朽甚シク到底患者ヲ收容シ得サルヲ以テ患者ノ手ニ依リテ之ヲ改築スルト同時ニ患者炊事場二〇坪ノ新築ヲナシタリ

昭和三年

一、收容患者百五十名増員ノ爲メ左ノ建物ヲ増築セリ

重症 舎	一棟 一三一坪	醫局及圖書室	一棟 二四坪
同 渡り廊下	一五坪	醫員調劑員、書記舎宅	三棟 四九坪五
輕 症 舎	五棟 二二〇坪	看護婦寄宿所	(増築) 一三坪
同 附屬物置	五棟 一〇坪	職員浴場	(増築) 二坪五
寢具及被服物置	一棟 一五坪	井 戸	三箇所
炊事場物置	一棟 一五坪		

昭和四年

一、本年中落成シタル建物ハ左ノ通り

汽 罐 室	一棟 三九坪	看護人駐在所	(移轉模様替) 八坪七五
汽罐用井戸ポンプ室	(改築) 六坪	同	(増 築) 三坪
診 察 室	一棟 四二坪	診察室附屬渡り廊下	一棟 三坪五
試 驗 室	一棟 二四坪	二號館及手術室	(模様替) 四二坪
同 附屬渡り廊下	二坪	事務所小使室	(増 築) 二坪
藥庫及製藥消毒兼試驗室(増築模様替)	六坪七五	醫員舎宅浴場	(増 築) 一坪五
前試驗室	(移轉模様替) 一八坪	脫衣所兼浴場	(増築模様替) 一七坪五

空氣瓦斯タンク置場

一棟 三坪

自動車車庫

一棟 一二坪

物品交附所兼物品藏置所(移轉模様替)

看護婦食堂

一棟 一七坪五

同 所 (増築) 七坪五

一、右ノ外患者ノ手ニヨリ増築シタルモノハ

娛樂室 (増築) 四八坪

綑帶交換所

(模様替) 三五坪

輕症舍 (菊舎増築) 七坪五

一、本年中ノ施設トシテ試驗室ノ増築ヲナスト共ニ理化學的療法ノ設備ヲナシ、追加豫算ニヨリ排水工事ヲ完成シ又給水方法トシテ深度三五〇尺以上ノ鑿泉ト壓搾「タンク」ヲ新設セリ

防火設備ノ爲メ院内ニ消火栓ヲ敷設シ又消毒物ノ完全ヲ期センカ爲メ汽罐ノ増設ヲナシ、消毒場、洗濯場、乾燥室等ノ改築ニ著手セリ

從來患者ノ輸送ニ際シテハ一方ナラサル不便ヲ感センヲ以テ患者輸送自動車壹輛ヲ購入シ收容ノ際ハ品川、赤羽、三河島、八王子、兩國等ノ各驛マテ出向セシムルヲ以テ多大ノ便利ヲ得ルニ至レリ

一、本年新ニ消防團、少年團、少女團等ヲ編成シ制規ノ服裝ヲナサシメ輕快ナル動作ニヨリ院内ノ奉仕作業ニ從事セシメ一般患者ノ品性ノ陶冶風紀ノ改善ニ努力セリ

一、患者ハ從來其ノ所在ヲ他ニ漏レサル様苦心シ種々僞名ノモトニ家族等ト音信ヲナシ來タリシモ、本年新ニ郵便局内ニ私書函ヲ設置シ又送金ヲ便ナラシムル爲メニ病院名ノ記載ヲ省キ特ニ「秋津クラブ」ノ名稱ヲ付シ振替口座ニ加入シタルヲ以テ患者並ニ家族ハ非常ニ喜悅シ安心シテ通信スルニ至レリ

一、九月二十八日ハ本院創立滿二十周年ニ相當スルヲ以テ之カ記念式ヲ舉行セリ

昭和五年

一、皇太后陛下ニハ夙ニ癩病者ヲ御憐憫長クモ日々ノ供御並ニ御調度品ヲ御節約遊ハサレ十一月十日 昭憲皇太后陛下ノ御名ニ於テ收容患者慰安ノ爲金五千圓ヲ御下賜アラセラレ尙ホ多年本病者ノ救療ニ從事シタル職員ニ對シ金品御下賜ノ恩命アリ十二月六日東京府廳ニ於テ傳達式ヲ舉行セラル其ノ光榮ニ浴シタル者院長光田健輔外十三名ナリ

一、收容患者定員ハ九百人ナルモ常ニ千有餘人ヲ收容シ尙ホ聯合府縣ヨリノ申込數常ニ五十名ヲ下ラス直接入院希望者亦益々増加セルヲ以テ八月ノ各府縣協議會ニ於テ來年度ヨリ百人ノ増員ヲ可決シ之ニ伴フ重症舍一棟患者住宅三棟ノ増築ニ著手セリ

一、同年中落成シタル建物ハ左ノ通り

卹筒室	一棟 八坪	洗濯場、消毒場、裁縫場、未消毒、既消毒品置場、乾燥室	二階建一棟 七二坪
屍室及汚物置場	(増築模様替) 一二坪	隔離病舍	(増築) 一棟 六七坪

昭和六年

一、三月十六日院長光田健輔ハ本職ヲ免セラレ國立癩療養所長島愛生園長ニ轉補セラレタルヲ以テ東京府衛生課長輕部修伯院長事務取扱ヲ命セラル五月五日醫員林芳信醫長ニ任セラレ同日院長ヲ命セラル、ト同時ニ輕部院長事務取扱其ノ職ヲ解カレタリ

三月二十五日醫員林文雄本職ヲ免セラル、ト同時ニ長島愛生園醫官ニ補セラレタリ其ノ他醫務囑託員、雇員、看護人ニシテ長島愛生園ニ轉シタル者五名アリ

一、救地擴張

患者増員ニ伴ヒ救地擴張ノ必要ニ迫ラレ聯合府縣ノ承認ヲ經テ七月現在敷地ノ北方ニ接續セル南秋津字中原山林九千四百七十三坪ヲ買収シタリ

一、定員増加並ニ移動

三月二十五日患者男女合計八十一名ヲ國立長島愛生園ニ移送シタリ
本年度ニ於テ收容定員百名増加シ千名トナリタルヲ以テ輕症舍三棟、重症舍一棟ノ増築ヲナシ患者ノ補充ニ力ヲ致シ一箇年間ノ收容數ハ實ニ二百五十名ニ及ヒ年末現在數千九十二名ニ達シタリ如斯多數患者ヲ收容シタルコトハ開院以來未タアラサリキ

一、財團法人全生互惠會ノ設立

長クモ 皇太后陛下ニハ常ニ癩事業ニ關シ御軫念遊ハサレ昭和五年十一月十日癩患者及ヒ多年本事業ニ從事セル職員ニ對シ御下賜金並ニ御下賜品ノ事アリ本院ニ於テハコノ有難キ恩召ヲ記念センカ爲メニ御下賜金ヲ基トシ諸般ノ寄附金、收容患者ノ設立ニカ、ル全生賣店、農會試作部、山櫻出版部、互惠部等ノ積立金品ヲ合シ財團法人全生互惠會ヲ設立シ其ノ筋ニ順出タル所四月二十五日付許可セラレタルヲ以テ六月二十六日多數名士ノ來院ヲ得テ設立祝賀式ヲ舉行セリ

一、看護人看護婦講習所設立

看護人ノ採用ニ關シテハ收容患者カ特殊ノ疾病ナルヲ以テ採用ノ困難ナルト共ニ技術取扱等ニ缺クル所アルニヨリ看護婦講習設備ノ必要ヲ認メ大正四年八月東京府ヘ設立ノ申請ヲナシタルモ經費其他ノ關係上許可セラレサリシカ昭和五年十二月十三日再ヒ上申シタルニ同十七日付ニテ許可セラレタルニヨリ同六年一月十五日警視廳ヘ申請、二月二十八日指定セラレタルヲ以テ五月二十九日第一回講習生ノ卒業式ヲ舉行シタリ

一、患者教育舍新設

患者教育舍ノ必要ヲ認ムル事多年漸ク本年七十坪二合五勺ノ校舍ヲ新築シタルヲ以テ十一月十三日落成式ヲ兼テ學藝品展覽會ヲ開催セリ、集マル所一道二府十二縣、臺灣、南滿洲、加奈陀等ニシテ千三百點ニ及ヘリ

一、同年増築シタル建物左ノ如シ

輕症舍	三棟 一三二坪四八	教育舍	一棟 七〇坪二五
同物置	三棟 六坪	寢具及被服物置	一棟 二〇坪
重症舍	一棟 六〇坪	患者食品配給所	(増築) 一三坪
同附屬渡り廊下	三坪	消防用器具置場及患者控所	一棟 六坪
精神病舍	一棟 六〇坪	禮拜堂用便所	一棟 二坪
患者食品配給所以下ハ患者ノ手ニヨリ建築シタルモノ			
道路敷石	四三〇坪(六、四五〇枚)		

昭和七年

一、昨六年十一月財團法人癩豫防協會ヨリ患者相談所二棟ノ建築方ヲ依頼シ來リシヲ以テ東京府ノ許可ヲ得テ患者作業ニ依リ工事ニ著手シ五月下旬竣工七月一日ヨリ開所シ年末ニハ九名ノ患者ヲ收容セリ尙ホ同協會ヨリ四棟ノ増築方ヲ申シ來リシヲ以テ直ニ工事ニ著手セリ

一、藤蔭靜枝嬢寄附ノ輕症舍一棟(十八坪五合)ハ財團法人全生互惠會ニヨリ工事中ノ處十一月竣工シタルヲ以テ藤蔭寮ト命名シ男年少者ヲ收容セリ

一、明治四十二年建設シタル輕症舎十棟ハ腐朽甚ク到底患者ノ收容不可能ナルヲ以テ本年度内ニ五棟ノ改築ニ著手シタル所三棟(百三十二坪五合一勺)ノ工事終了セシヲ以テ患者ヲ收容セリ

一、本年中増築シタル建物ハ(前記ヲ除ク)左ノ如シ

電氣室	一棟 七坪五	外來患者診療所兼待合所	一棟 六坪
看護婦浴室及脱衣室	一棟 二九坪二五	配食器消毒所	一棟 七坪五
精米精麥患者作業所	一棟 一八坪五	同 渡り廊下	〇坪七五

昭和八年

一、運動場開キ 四月十三日豫テ院内北隅ニ工事中ノ運動場竣工ニ付「グラウンド」開キヲ舉行セリ

一、全生相談所輕症舎竣工 昨年建築ニ著手セシ癩豫防協會相談所輕症舎四棟ハ全部竣工セリ而シテ昨年竣工ノ分ト合スレハ六棟一〇三・四四坪トナリ年末現在ノ收容患者數二十人、内男十四人女六人トナレリ

一、御歌記念碑除幕式 畏クモ 皇太后陛下ニハ昭和七年「癩患者を慰めて」トノ御兼題ヲ仰出サレつれづれの友となりても慰めよ

行くことかたきわれにかはりて

ト御詠シ遊ハサレタリ

本院ニ於テハ其ノ御歌ヲ永ク記念センカ爲寄附金ヲ以テ御歌ヲ刻ミタル御坤德記念碑建設ヲ企テ十一月十日ソノ竣工ヲ見タルニ依リ入江皇太后宮太夫閣下、鹿兒島宮内省總務課長閣下、大島内務省衛生局長閣下、香坂東京府知事閣下、清閑寺皇太后宮事務官殿始メ其他多數名士御臨場ノ許ニ盛大ナル除幕式ヲ舉行セリ

一、輕症舎改増築 明治四十二年ノ建築ニ係ル輕症舎ハ腐朽甚ク使用困難トナリシヲ以テ昨年度ニ於テ五棟ノ改増ヲ爲セシカ本年ハ残り四棟ト夫婦舎トヲ改築セリ、夫婦舎ハ從來一棟ナリシヲ二棟ト爲シ、其他重症舎一棟ノ増築並ニ看護婦寄宿舍一棟ノ新築ニ著手セリ

一、竣工セシ建物ハ左ノ通り

輕症舎	二棟 (改築) 八八坪三四	同 (夫婦舎)	二棟 (改築) 七〇坪三七
-----	---------------	---------	---------------

昭和九年

一、永代神社大祭

豫テ慰安會ニ於テ建設中ナリシ永代神社竣工シタルヲ以テ伊勢皇大神宮、豐受大神宮、明治神宮ノ御三柱ノ御神靈ヲ奉戴シ五月二十二日夜九時ヨリ全職員參列古式ニ則リ遷宮式ヲ舉行シ翌二十三日午後二時半ヨリ大祭ヲ執行セリ

一、楓苗木御下賜

五月二十六日 皇太后陛下ヨリ楓苗木百五十本御下賜ノ御沙汰アリ院長大宮御所ニ伺候拜受シ職員患者一同ニ傳達ノ上院内ニ移植セリ

一、第三區外島保養院患者委託

九月二十一日中國近畿地方ヲ襲ヘル大暴風雨ノ爲メ外島保養院ハ不幸ニモ津浪ノ襲來ヲ受ケ改築殆ント成リテ十一月移轉スルノ豫定ナリシ主要建物及舊建物全部潰滅ニ歸シタルヲ以テ生存患者ヲ全國各療養所ニ委託スルコト、ナリ、本院ハ九月二十七日五拾名、十月九日二拾名合計七拾名ノ患者ヲ受託收容セリ

一、第一號館其他ノ改増築